



関東連盟新聞

現役医学系学生が語るJUNKOだからできる文武両道

学業と部活動を両立する医学系学生に、両立の仕方やJUNKOならではの魅力などをインタビューしました!

- Q1.部活動と学業の両立で、JUNKOだからこそ良かったと感じることは?
- Q2.部活動と学業を両立するための工夫は?
- Q3.選手・マネージャー経験が、将来にどう生きると思うか

医学部

清水真輝 選手(慶應義塾大学4年・慶應義塾)



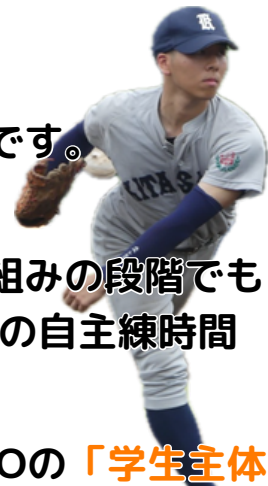
A1.高校の同期が多く在籍することもありJUNKOを選びましたが、**医学部では関われない多くの人と関わったこと**は良かったと感じます。自分と違うことに取り組む人が多くいることは、自分も頑張らないという刺激になります。

A2.学生主体である・**自分で考えて練習**することが多い点がJUNKOの特徴だと思います。その中で、授業や実習でなかなか全体練習に行けなくても、自主練の時間をしっかり取るようにしています。また練習場所と学部のキャンパスが異なるので、そこでしっかり**スイッチを変える**ようにしています。

A3.JUNKOで高い熱量で取り組んだ経験は、将来あらゆる場面で生きると思います。これは医師に限らず**だ**と思いますが、**学生主体で1つの目標に向かって試行錯誤**するという経験は、**自分の人生の目標に向かっていく時にも役立つ**と感じています。

獣医学部

堀岡慎司 選手(北里大学3年・都立日野台)



A1.実習で練習に遅れたり参加できなかつたりしても、学生主体のため、部員同士で理解ができることです。**学業に支障の出ない範囲で考えることができる環境が整っている**ことが魅力です。

A2.部活の予定を全てカレンダーに入れておくことです。主務のため、練習試合の日程を決める上で仮組みの段階でも予定に入れておくことで、ダブルブッキングを防げると考えています。また、全体練習が終わってからの自主練時間を、**翌日の授業や課題の進捗を考えた上で調節**をしています。

A3.1年次の秋季リーグ後から主務を引き継いだこの経験は、将来必ず活かせると思っています。JUNKOの「**学生主体の運営**」を行う立場として、練習試合の日程決め・選手登録や管理・提出書類の作成を主に行っています。締切が決まっているものが多いためこれらの管理をしています。締切に間に合うように部員へリマインドすることで遅れないように心掛けています。今年度は主務と新関東連盟の春季リーグ戦運営委員長の2つの役職があるため、自チームと他大学のそれぞれをまとめる立場となり忙しくありますが、1年次からの主務の経験を活かして実践しています。**自分が先頭に立ってまとめる経験は自然と責任感も生まれ、将来に活かすことができる**と感じています。

薬学部

マネージャー 矢ノ口音羽 さん(東京薬科大学3年・小金井北)



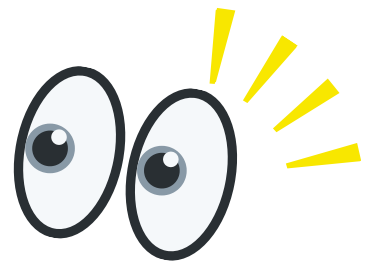
A1.大学の授業では関わることがない部員たちとJUNKOを楽しみ、**試合に勝つという1つの目標を達成しようと、選手だけでなくマネージャーも頑張れる**ことです。

A2. 9時40分~15時30分:大学の授業
15時30分~17時:練習
このようなスケジュールのため、メリハリをつけて練習に参加しています!

A3.**みんなで1つの目標に向かって努力する**という経験は、将来大変なことがあっても**目標に向かってやり抜く力**につながると思います!

6月の2大注目イベント

全日本大会出場校選出予選会



今月31日(日)より、全日本大会出場校選出予選会が開幕します！

今大会は、全日本選手権大会と清瀬杯への出場をかけたトーナメント式の大会です。

関東地区からは、全日本選手権大会へ7校・清瀬杯へ4校が出場します。

今月23日(土)に抽選会を行い、トーナメントが決まります。トーナメント表は各種SNS・HPでご確認ください。

会期：5月31日(日)～6月14日(日)間の土日

初戦：@横須賀スタジアム

※13日(土)は試合はありません

@スリーボンドベースボールパーク上柚木

関東JUNKOオールスター大会

来月26日(金)～28日(日)の3日間で、関東JUNKOオールスター大会が

開催されます！今年も福島県西白河郡泉崎村で行います。詳細は今後のSNSで

お知らせいたします！

第3弾！

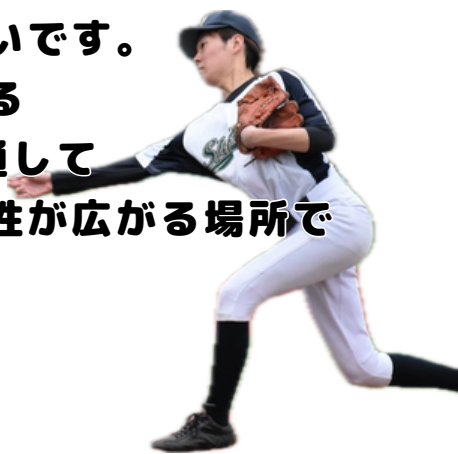
学生委員インタビュー

今年度、新たに12人の学生委員が加わり
ました！今回は新規学生委員2人に
「今後、JUNKOがどうなってほしいか」
をインタビューしました！

1人目

小河大将
(芝浦工業大学・3年)

これからのJUNKOは野球人の新たな**野球人生の
オーソドックス**になって欲しいです。
様々な背景を持った人が集まる
JUNKOだからこそ、野球を通して
人と触れ合い、みんなの可能性が広がる場所
であって欲しいと思います。



2人目

炭谷優芽
(日本大学・2年)

多くの**高校生に進路として選ば
れ**、広報活動を通じて魅力が広
く伝わるJUNKOになってほし
いです！

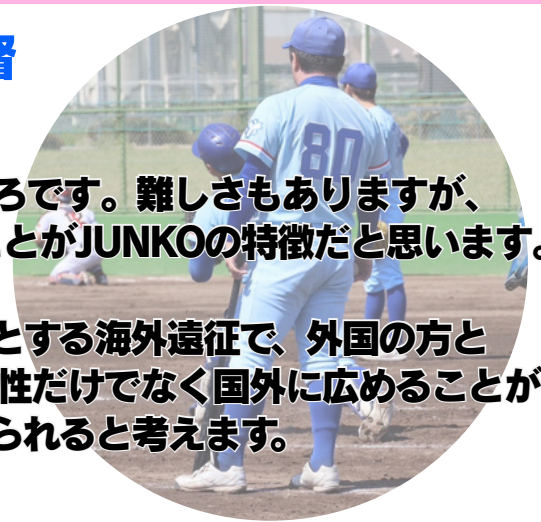


チームを支える 縁の下の力持ちに注目！

Q1.あなたの思うJUNKOの良さは？

Q2.あなたがJUNKOでひろげたい可能性は何ですか？

日本体育大学 学生監督
柳下 健斗 さん



A1.学生主体で運営を行うところです。難しさもありますが、
学生一人ひとりの色を出せることがJUNKOの特徴だと思います。

A2.オーストラリア遠征を始めとする海外遠征で、外国の方と
触れ合う機会です。国内の可能性だけでなく国外に広めることが
JUNKOの可能性や魅力を上げられると考えます。



法政大学 マネージャー
丹治こころ さん

A1.圧倒的に選手との距離感です。
他大学も含め多くの人と関わることが
できます！

A2.選手一人ひとりとチームの成長の幅と
人とのつながりを広げる可能性です。